

現行施策の改良点等について(第3回検討会まとめ)

施策	検討会意見	今後の方向性
市民活動センター	専門の方にお話を聞いたが良く分からなかった。	センターの相談機能の見直し
	お話がどんどん違う方向へ行ってしまうて困った。 相談の体をなしていない。	
	コーディネート機能を持つ人の不在	
	市民活動センターのソフト面が機能していない	
	自由に相談できる NPOセンター相談業務体制	
	ソフト的に対応できるスキル・ノウハウを持った人材がいるのか？	
	やる気のある市民が関わりたくなるような運営が行なわれているの？	
	市民活動に対する「思い」をもった人材がいるのか？	
	どのように行政とつながればよいか普通に活動していると分からない。だれが、どこで、どんなことをしているかわからない	
	協働のあり方をどのように相談するのか	
	中間支援期間のコーディネート力UP(民だけど官企のことも良く分かっている人材)	
	中間支援組織の信用保証	
	NPOセンターの相談力UPを 外部人材の活用含む	
	団体の相談先が他市へ流れてしまっている	
	市民活動センターが狭い	場所の提供
	300平米ほどあると良い エレベーターなどバリアフリー	
	他市には広いスペースが用意されているところあり センターと団体のみならず、利用者同士のコミュニケーションも生まれる。	
	会議室が使えない 子連れではとうていムリ	
	場の提供、車イス、ベビーカーのユーザーには不便	
	昔のままの悪い点ありませんか？ しっかり洗い出して新しい協働のための刷新を	
	全利用可能施設を調査して状況の把握から 特定団体の予約押さえなど乱発が	
	学習センターを有効利用できないのか	
	鎌倉・大船NPOセンター 夜間利用 会議室利用率の分析	
	町内会館等の利用ができないか	
	コミュニティースペースとして生涯学習センターのロビー(きらら)の空間を利用する	
	出会いが自由にできるように	
	選定基準として地域性の重視を行っているか	指定管理者選定方法の再考
	指定管理者制度の問題点の洗い出しが必要	
	指定管理者の審査員に必ずNPO,市民活動及びNPO法人会計基準に精通する専門家を入れている？	

施策	検討会意見	今後の方向性
相互提案協働事業	提案制度の申し込み数が少ない	応募方法の見直し
	前年を参考に内容、テーマ等を考えるべき	
	提案を妨げる「壁」があるのか？ 面倒だから	
	金額が低い	
	前向き、意欲的に取り組みやすい仕組みといえるでしょうか。トライ＆エラーもあってよいかも	
	4者協議は確実であるが、破綻してしまう例が多すぎる気がする	選考方法の見直し
	スケジュールに縛られないゆつくり考えられるように 市民に投票してもらったら関心ももたれるのかと	
	市民活動とニーズがあっているかどうか疑問	
	随時提案にしたら 評価者の見直しはどう？	
	金額が低く慎重に進めるなら、次、評価が良かったらステップアップするとか。育てる企画に	事業を継続させる仕組み
	協働で始まった事業から継続的な事業に移行する場合公募の必要はないと思う	
	関係者が評価できるようにするのは？ NPOではできないの？ 問題あり	評価方法の見直し
	育てる意識の欠如が感じられる	制度の目的の見直し、再確認
	NPOが育つ NPOを育てる視点、スタンス	
	協働事業自体の認知度が低い	周知方法の見直し
	相互提案事業もHPIには記載あるが、そこは興味を持てていなければ分からない。	
	他の市の事例を真似しないで、鎌倉独自のものを作りたい	
市民活動補償制度	子育て懇談会のように協働でやっている団体でも知らなかった。告知不足をどうするか。	周知方法の見直し
	きちんとした広報 普及のためのPRなくして意味はない	
	社協が保険を使っていたが、名簿提出が必要になり急遽「市民活動補償制度」を利用した	
	条件、補償内容がはっきりしない	
	見やすい一覧	
	不特定多数が集まるイベントが多いのに使える保険が少ない。参加者の補償	保険内容の再考
	市町村の財政圧迫という話もある	
その他	基金、補助金リストは公表されているか	情報の公開
	補助金など周知不足	
	当初は地域と子ども目線でとの話だったのに、指定管理にする際は公募して他県からの企業がとった。危機管理も大切だが、これまでの実績は評価しないのはなぜ？	指定管理、委託等について
	体育館の使いづらさ 指定管理者制度を採用することにより、規制がかかり以前よりサービスが低下するなどの弊害がある	
	公募の場合、審査員の選び方に不信感がある	
	当事者市民が評価する手法もあり	
	市民活動推進の視点での評価基準の策定。経験や実績を見るべき、市民活動団体の育成をするという視点はないのか	
	公益性のあるイベント等への協力体制	
	自治会、地区社協、地縁の人との連携	
	「かまくら」らしい市民協働とは 行政事務最優先の条例や施策にならないように	
	市民を育てる条例に	
	民間企業でなくNPOを育てる方向で進めてほしい。	